

## 企業振興課

### (1) 地域経済全般

#### ア 中小企業指導団体助成事業

中小企業振興条例第5条に基づき、中小企業者及び事業協同組合等の総合的な向上改善と育成に努めている指導団体が行う事業に対し、事業量等を考慮して助成金を交付する。

〔助成金の年度別推移〕

(単位：千円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
鹿児島商工会議所	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
谷山商工会	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
吉田町商工会	2,200	1,500	1,500	1,500	1,500
桜島町商工会	1,900	1,300	1,300	1,300	1,300
喜入町商工会	2,600	1,500	1,500	1,500	1,500
松元町商工会	1,800	1,600	1,600	1,600	1,600
郡山町商工会	1,700	1,200	1,200	1,200	1,200
鹿児島県中小企業団体中央会	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
鹿児島県商店街振興組合連合会	200	200	200	200	200
一般社団法人鹿児島市商店街連盟	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
(社)鹿児島県工業倶楽部	200	200	200	200	200

※22年度については、予算額

#### イ 新事業創出・販路開拓支援事業

新規創業者によるビジネスアイデアの事業化に対して支援を行うとともに、新商品の販路開拓や市内中小企業と大学等との連携による新商品の開発に対する支援を行い、新規創業や経営革新に取り組む中小企業者を育成する。

#### ウ 新規創業者等育成支援事業

インキュベーション・マネージャーを2名設置し、ソフトプラザかごしま及びソーホーかごしま入居者等に対する経営・販路面のアドバイスなど成長のための支援や、新規創業者等に対する育成支援の取り組みを強化する。また、SOHO支援イベントや創業セミナー等の開催を行う。

#### エ 中小企業情報化促進事業

本市中小企業の情報化を促進するため、ソフトプラザかごしまにおいて、情報提供コーナーの運営、情報化セミナー等の開催、中小企業と入居企業との交流促進を行う。

〔図書・ビデオ貸出し件数〕

平成22年4月1日現在

	18年度	19年度	20年度	21年度
貸出し件数	577件	557件	383件	479件

〔セミナー開催状況〕

	18年度	19年度	20年度	21年度
セミナー回数	12回	12回	11回	9回
延べ受講者数	484人	347人	449人	338人

#### オ 中小企業異業種交流支援事業

中小企業の経営基盤の強化や新分野への事業展開を促進するため、異業種交流グループを組織し、講演会や勉強会を通じた交流活動を支援する。

- ・ 実施主体—鹿児島市と鹿児島県中小企業団体中央会などで組織するかごしま異業種交流支援事業実行委員会

#### カ 鹿児島市商工業振興プラン（仮称）策定事業

本市経済施策の基本計画である「鹿児島市商工業振興プラン（仮称）」の策定により、産業振興・地域経済活性化の指針を明確にするとともに、将来の商工業を中心としたあり方を示し、商工業のより一層の振興を図る。

### （2）商業・サービス業の振興

#### ア にぎわい商店街づくり支援事業

市内の商店街に対し、各種調査や現場診断などを通じた商店街活性化のための提言・指導を行うとともに、その提言等を基に商店街が自主的に行う商店街づくり計画策定を支援する。

（平成22年度は、1商店街について実施予定）

#### イ 共同施設設置事業に対する助成

事業協同組合等が構成員の事業共同化のための共同施設又は一般公衆の利便に寄与する共同施設を設置した場合に、1事業1億円を限度に助成する。

- ・ 助成額：事業費ごとに区分した助成率を事業費に乗じて得た額の合計  
（助成率は、共同施設の種類、国・県の補助金の有無により異なる）

〔共同施設〕

平成22年4月1日現在

	18年度	19年度	20年度	21年度
実施団体数	4団体	2団体	1団体	1団体
助成金額	32,833千円	38,474千円	100,000千円	2,006千円

ウ 商店街活性化ソフト対策支援事業

個性的で魅力ある商店街づくりを推進し、商店街の活性化を図るためのソフト事業を実施する商店街に対し、その経費の一部を助成する。

・助成メニュー

- ① C I 戦略推進事業（グッズ作成に対する助成）
- ② 明るい商店街づくり推進事業（街路灯の電気料に対する助成）
- ③ 情報化推進事業
- ④ 商店街等交流活性化事業

〔各事業の実績〕

平成22年4月1日現在

		18年度	19年度	20年度	21年度
C I 戦略推進事業	実施団体	9 団体	1 3 団体	9 団体	1 7 団体
	助成金額	1, 598千円	2, 642千円	2, 336千円	3, 456千円
明るい商店街づくり推進事業	実施団体	7 5 団体	7 4 団体	7 4 団体	7 3 団体
	助成金額	10, 857千円	10, 463千円	10, 853千円	11, 012千円
情報化推進事業	実施団体	1 団体	1 団体	0 団体	0 団体
	助成金額	500千円	164千円	0千円	0千円
商店街等交流活性化事業	実施団体	7 団体	1 3 団体	1 3 団体	1 1 団体
	助成金額	1, 750千円	2, 972千円	2, 933千円	2, 660千円

エ 桜島降灰対策助成事業

桜島爆発による降灰から快適な都市環境と美観を守るため、次の事業を行う。

(ア) 降灰除去機購入に対する助成

商店街が降灰除去機を購入した場合、1台につき購入費の1/2に相当する額で、5万円を限度に助成する。

(イ) アーケード降灰除去事業に対する助成

商店街がアーケードの降灰除去事業を実施した場合、経費の1/2に相当する額で、1回あたり20万円を限度に助成する。

（助成回数は、1商店街につき1会計年度3回まで）

(ウ) 降灰の収集用克灰袋の配布

商店街に降灰の収集用克灰袋を配布する。

〔各事業の実績〕

平成22年4月1日現在

		18年度	19年度	20年度	21年度
克灰袋の 配布	団体数	12団体	1団体	0団体	18団体
	配布枚数	3,740枚	50枚	0枚	3,280枚
アーケード 降灰除去事 業補助金	団体数	1団体	0団体	2団体	6団体
	助成金額	106千円	0千円	155千円	871千円
降灰除去 機補助金	団体数	0団体	0団体	0団体	0団体
	助成金額	0千円	0千円	0千円	0千円

### オ 組織化に対する助成

中小企業振興条例第6条に基づき、中小企業者が法人である事業協同組合等を組織した場合に、1法人あたり10万円を限度に助成する。

- ・ 助成額：50,000円＋2,000円×（構成員数）

〔事業実績〕

平成22年4月1日現在

	18年度	19年度	20年度	21年度
団体数	1団体	1団体	1団体	0団体
助成金額	60千円	74千円	58千円	0千円

### カ 元気の出る中小企業支援事業

市内の商店街や商工業の事業協同組合、中小企業者で組織するグループが自主的に開催する研修会活動等に対し講師を派遣し、その活動を側面から支援するとともに、スキルアップ等の実践的なセミナーを開催し、商店街及び中小企業者の活性化を図る。

また、市内の商業者を対象に実践的なセミナーを開催し、商店街のリーダーの育成や資質向上等を図る。

〔事業実績〕

平成22年4月1日現在

		18年度	19年度	20年度	21年度
講師派遣	団体数	12団体	11団体	10団体	5団体
	講座回数	30回	25回	23回	5回
セミナー	参加者数	—	111人	43人	96人

### キ 街なか空き店舗活用事業

中心市街地内の空き店舗を活用したテナントミックス事業やチャレンジショップ事業を行う商店街等を支援することにより、空き店舗を解消し、魅力ある商店街づくりの創出に寄与する。

## 〔テナントミックス事業実績〕

平成22年4月1日現在

	18年度	19年度	20年度	21年度
実施団体数	1 団体	1 団体	2 団体	1 団体
店舗数	0 事業所	3 事業所	5 事業所	6 事業所
助成金額	79千円	3,089千円	4,824千円	6,860千円

## ク 商店街ファンタスティックイルミネーション助成事業

来街者に彩り豊かな魅力ある夜の街を演出するため、「ファンタスティックイルミネーション事業推進基本計画」に基づいて商店街が実施するイルミネーション設置に対して支援を行い、夜間の来街者の増加や回遊性の向上を図り、新たな賑わいを創出する。

## 〔補助内容〕

対象団体	ファンタスティックイルミネーション事業推進基本計画に定められた3大夜間景観軸エリアにある商店街
補助率	2分の1以内
補助限度額	300万円以内
対象事業	初回申請時における補助対象経費が100万円以上のもの

## ケ 頑張る商店街支援事業

商店街の活性化を図るため、商店街等が提案する独自のアイデアや創意工夫による取組みに対して助成する。

## 〔事業実績〕

平成22年4月1日現在

	18年度	19年度	20年度	21年度
実施団体数	—	4 団体	10 団体	12 団体
助成金額	—	8,392千円	10,166千円	11,512千円

## コ 東千石町19番街区整備事業

東千石町19番街区の市が換地取得した土地の活用について、選定された民間事業者が見直しを行った（仮称）天文館シネマの事業計画について、新たなスケジュールに沿って、円滑な事業推進が図られるように支援を行う。

## サ 商店街歩行者通行量調査

本市主要商店街における、平日・土・日曜日の3日間の歩行者の流れや特徴を把握し、その分布状況及び動向を比較分析することにより、今後の商店街活性化を図っていくための基礎資料とする。

## シ ソフトプラザかごしまの管理運営

情報関連産業の育成・支援を図るための拠点施設「ソフトプラザかごしま」の管理運営を行い、市内情報関連企業の育成、市外からの情報関連企業の誘致並びに本市中小企業の情報化を促進し、地域経済全体の活性化、雇用の創出を図る。

〔ソフトプラザかごしま施設概要〕

入居用施設、展示会議室、情報提供コーナー、商談コーナー等

〔情報提供コーナー利用者数〕 平成22年4月1日現在

	18年度	19年度	20年度	21年度
利用者数	3,657人	2,898人	3,230人	3,231人

## ス ソーホーかごしまの管理運営

SOHO事業者を育成・支援するための拠点施設「ソーホーかごしま」の管理運営を行うことにより、新規創業やベンチャービジネスの展開を促進し、地域経済の活性化を図る。

〔交流サロン利用者数〕 平成22年4月1日現在

	18年度	19年度	20年度	21年度
利用者数	6,826人	5,766人	5,849人	4,821人

## (3) 工業の振興

### ア 共同施設設置事業に対する助成【再掲】

事業協同組合等が構成員の事業共同化のための共同施設又は一般公衆の利便に寄与する共同施設を設置した場合に、1事業1億円を限度に助成する。

・助成額：事業費ごとに区分した助成率を事業費に乗じて得た額の合計

(助成率は、共同施設の種類、国・県の補助金の有無により異なる)

### イ 組織化に対する助成【再掲】

中小企業振興条例第6条に基づき、中小企業者が法人である事業協同組合等を組織した場合に、1法人あたり10万円を限度に助成する。

・助成額：50,000円＋2,000円×(構成員数)

### ウ 南国鹿児島物産と観光展開催事業

神戸市、福岡市において、本市の特産品を展示販売するとともに、観光資源を広く紹介宣伝することにより、特産品の販路拡大及び観光客の誘致を図る。

また、平成22年度は九州新幹線全線開業前イベントとして、内容を充実して実施する。

〔売上実績〕

	18年度	19年度	20年度	21年度
神戸展	45,698千円	54,017千円	51,451千円	45,957千円
福岡展	—	56,228千円	45,450千円	50,301千円

エ 伝統的工芸産業の活路開拓支援事業

本場大島紬織物協同組合等が行う活路開拓のためのイベント等に対して助成し、その振興を図る。

オ 特産品宣伝事業

本市の特産品を紹介・宣伝し、販路拡大を図るため、特産品ガイドブックを作成・配布する。

カ 製造業アドバイザー派遣事業

製造業者や製造業グループからの指導依頼に応じて、技術、デザイン、販路、経営等の専門家（アドバイザー）を派遣し、専門的立場から指導することにより、企業の経営力及び技術力等の向上を図る。

〔派遣実績〕

	18年度	19年度	20年度	21年度
企業数	22社	15社	16社	16社
回数	30回	24回	26回	20回

キ 特産品コンクール開催事業

県内の製造業者を対象に、特産品を募集し、優秀商品を表彰するとともに、入賞商品等を県内外で展示販売し、特産品のPRと販路の拡大を図る。

ク 伝統的工芸産業の振興

市内の伝統的工芸産業（大島紬・竹）業者の作業の場として、大島紬締機センター、大島紬のり張りセンター、竹産業振興センターの管理運営を行い、本場大島紬産業、竹産業の振興・育成を図る。

〔利用実績〕

	18年度	19年度	20年度	21年度
大島紬締機センター	11,238人	8,474人	6,856人	5,905人
のり張りセンター	1,562件	1,219件	960件	708件
竹産業振興センター	4,535人	4,801人	4,888人	5,604人

#### ケ 竹工芸マイスター養成講座

市民を対象に、竹編み等の技術の習得を目的とした竹工芸マイスター養成講座を開催し、竹工芸技術の継承と市民の竹製品に対する理解を深める。

〔竹工芸マイスター修了者数〕

	18年度	19年度	20年度	21年度
初 級	25人	28人	27人	30人
中 級	17人	23人	18人	20人
上 級	9人	17人	22人	11人
計	51人	68人	67人	61人

#### コ 元気の出る中小企業支援事業【再掲】

市内の商店街や商工業の事業協同組合、中小企業者で組織するグループが自主的に開催する研修会活動等に対し講師を派遣し、その活動を側面から支援するとともに、スキルアップ等の実践的なセミナーを開催し、商店街及び中小企業者の活性化を図る。

#### サ 「観光と特産品の情報ステーション」運営事業

本市、鹿児島商工会議所及び鹿児島観光コンベンション協会が共同で、鹿児島商工会議所ビル1階において「観光と特産品の情報ステーション」を運営し、観光客や市民に対して特産品の展示や観光と物産に関する情報の提供を行うことにより、特産品の販路拡大と観光資源のPRを図る。

〔観光と特産品の情報ステーション利用状況〕

	18年度	19年度	20年度	21年度
利用者数	33,835人	38,509人	37,101人	33,456人

#### シ 大島紬アンテナショップ運営事業

本場大島紬に関する情報発信を行いその消費の拡大と業界の活性化を図るため、多くの市民や観光客が訪れる中心市街地において、「本場大島紬アンテナショップ 織姫館」を運営する。

〔大島紬アンテナショップ来館者数〕

※平成21年9月5日オープン

	21年度
来館者数	8,676人

#### ス 三市連携伝統的工芸品活路開拓事業

福岡市、熊本市との交流連携協定に基づき、三市の伝統工芸を活かした新製品のプロモーションを合同で実施することで、本市の伝統的工芸品の販路拡大を図る。



セ 三市連携地場企業販路拡大推進事業

福岡市、熊本市との交流連携協定に基づき、三市が連携して食品見本市への出展、合同商談会の開催などに取り組むことにより、市内中小企業者の商品の販路拡大を図る。

(4) 貿易の振興

ア 日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター助成事業

本市の貿易及び経済の振興を図るため、同センターが行う貿易・経済情報の収集、貿易相談事業、貿易研修等の事業に対して助成する。

[助成額]

(単位：千円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
助成額	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300

※22年度については、予算額

イ 貿易関係団体に対する負担金

[各種団体への負担金]

(単位：千円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
(財) 日本関税協会	48	48	48	48	48
鹿児島港利用促進協議会	394	286	286	286	286
(社) 鹿児島県貿易協会	300	300	300	300	300

※22年度については、予算額

(5) 鉱害の防止

ア 休廃止鉱山鉱害防止事業

旧錫山鉱山の大切坑口から流出する坑水を適正に処理することにより、周辺住民及び下流住民の生活環境を保全する。